



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <https://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (ライブ配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|--------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 5,083 | 0.0 | △1,090 | — | △774 | — | △494 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 5,081 | △17.7 | △796 | — | △772 | — | △581 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △770百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △614百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | △38.33 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | △45.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 14,180 | 3,989 | 28.1 | 307.77 |
| 2022年3月期 | 14,449 | 4,775 | 33.0 | 371.56 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,989百万円 2022年3月期 4,775百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期 (予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,500 | 31.4 | 450 | 200.4 | 430 | 32.3 | 80 | 50.2 | 6.22 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 14,178,200株 | 2022年3月期 | 14,178,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 1,216,012株 | 2022年3月期 | 1,326,161株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 12,890,166株 | 2022年3月期2Q | 12,783,871株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が一時的に落ち着きを見せたものの、第7波の影響により、旅客輸送、宿泊など人の移動を伴う業種を中心に、引き続き、厳しい状況が続きました。また、ロシアによるウクライナ軍事侵攻およびそれに伴う資源等の価格高騰、世界的なインフレ、急激な円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く経営環境においても、主要な取引先であるバス・鉄道業界におきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2021年4月よりスタートいたしました長期ビジョン「VISION2030」と長期ビジョンのアクションプランとして策定した中期経営計画「CN2023 (Challenge to the Next stage2023)」の実現に向けた取り組みを進めております。

中期経営計画「CN2023」では、重点課題である①「モノ+コトへの新たな事業展開」、②「MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供」、③「海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり」、④「事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革」、⑤「育成分野への経営資源のスムーズな移行」の5つの課題に向けた取り組みに注力しております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、輸送機器事業は前年同期実績を下回り、産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)は前年同期実績を上回りました。この結果、売上高は50億83百万円(前年同期比1百万円増、0.0%増)、営業損失は10億90百万円(前年同期は7億96百万円の営業損失)、経常損失は7億74百万円(前年同期は7億72百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億94百万円(前年同期は5億81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

[輸送機器事業]

当事業の売上高は31億90百万円(前年同期比2億3百万円減、6.0%減)、営業損失は9億19百万円(前年同期は6億35百万円の営業損失)となりました。

市場別の売上高は、バス市場が17億92百万円(前年同期比2億97百万円減、14.2%減)、鉄道市場が9億6百万円(前年同期比1億22百万円増、15.6%増)、自動車市場が4億92百万円(前年同期比28百万円減、5.5%減)となりました。

バス市場につきましては、首都圏向け車内液晶表示器の売上が増加した一方、前年にあった新500円発行に係る運賃箱の改造需要が剥落したほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響による業界全体の設備投資の抑制傾向が続き、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が伸び悩み、減収となりました。

鉄道市場につきましては、国内通勤車両・新幹線向け灯具が継続的に受注できているほか、南アジア・北米向け列車用LED灯具の売上が増加し、増収となりました。

自動車市場につきましては、トラックの生産台数減少に伴う関連製品の販売減少により、減収となりました。

損益面につきましては、減収に加え、商品構成の変化により、損失幅が拡大しました。

[産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)]

当事業の売上高は、18億74百万円(前年同期比2億5百万円増、12.3%増)、営業損失は1億47百万円(前年同期は1億42百万円の営業損失)となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が11億61百万円(前年同期比2億45百万円増、26.8%増)、エコ照明・高電圧ソリューション市場が3億17百万円(前年同期比8百万円減、2.7%減)、EMS市場が3億95百万円(前年同期比30百万円減、7.2%減)となりました。

電源ソリューション市場につきましては、物流市場の活況に伴うフォークリフトの需要増加により、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が増加したほか、無停電電源装置の売上が増加し、増収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、燃焼器具用変圧器の売上が増加したものの、LED電源などの売上が減少し、減収となりました。

EMS市場につきましては、産業機器向け基板実装売上が減少し、減収となりました。

損益面につきましては、銅・鉄等の主要原材料価格の上昇により損失幅が拡大しました。足元では、材料価格の値上がりを踏まえた価格の改定交渉を実施しており、交渉の結果は下期より業績に反映される見通しです。

[その他]

当事業の売上高は18百万円、営業利益は4百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は141億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億69百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が5億55百万円、原材料及び貯蔵品が5億52百万円、繰延税金資産が3億10百万円、仕掛品が2億68百万円増加した一方で、現金及び預金が10億45百万円、受取手形及び売掛金が8億85百万円減少したこと等によるものです。

負債は101億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億16百万円増加いたしました。主な要因は、未払消費税等が2億66百万円、未払法人税等が2億50百万円、未払金が1億55百万円、長期借入金が1億55百万円、一年以内返済予定の長期借入金が1億8百万円、電子記録債務が81百万円減少した一方、短期借入金が15億64百万円増加したこと等によるものです。

純資産は39億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億85百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失4億94百万円の計上や配当金68百万円の支払い等により利益剰余金が5億62百万円、為替換算調整勘定が2億71百万円、自己株式が47百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の決算短信にて公表しました予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,094,941 | 3,049,154 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,354,857 | 2,469,612 |
| 商品及び製品 | 839,266 | 1,394,573 |
| 仕掛品 | 537,168 | 805,848 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,908,013 | 2,460,454 |
| その他 | 548,212 | 679,015 |
| 流動資産合計 | 11,282,458 | 10,858,658 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 807,109 | 779,008 |
| その他(純額) | 728,460 | 680,875 |
| 有形固定資産合計 | 1,535,570 | 1,459,884 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 587,885 | 513,393 |
| 投資有価証券 | 558,180 | 554,072 |
| その他 | 532,174 | 840,467 |
| 貸倒引当金 | △46,300 | △45,700 |
| 投資その他の資産合計 | 1,044,054 | 1,348,839 |
| 固定資産合計 | 3,167,510 | 3,322,117 |
| 資産合計 | 14,449,969 | 14,180,775 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,183,455 | 1,198,637 |
| 電子記録債務 | 1,512,855 | 1,431,820 |
| 短期借入金 | 3,205,615 | 4,769,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 437,201 | 328,735 |
| 未払法人税等 | 286,532 | 35,465 |
| 賞与引当金 | 315,473 | 328,529 |
| 製品保証引当金 | 60,355 | 55,108 |
| 受注損失引当金 | 116,569 | 116,569 |
| その他 | 1,301,591 | 901,631 |
| 流動負債合計 | 8,419,649 | 9,166,297 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 499,133 | 344,123 |
| 従業員株式付与引当金 | 201,626 | 206,881 |
| 役員報酬BIP信託引当金 | 102,866 | 80,268 |
| 退職給付に係る負債 | 35,830 | 36,660 |
| その他 | 415,568 | 357,121 |
| 固定負債合計 | 1,255,023 | 1,025,054 |
| 負債合計 | 9,674,672 | 10,191,352 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,190,955 | 1,190,955 |
| 資本剰余金 | 1,211,976 | 1,218,003 |
| 利益剰余金 | 2,773,271 | 2,210,279 |
| 自己株式 | △549,340 | △502,018 |
| 株主資本合計 | 4,626,863 | 4,117,219 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 120,417 | 115,911 |
| 為替換算調整勘定 | 28,015 | △243,707 |
| その他の包括利益累計額合計 | 148,433 | △127,795 |
| 純資産合計 | 4,775,296 | 3,989,423 |
| 負債純資産合計 | 14,449,969 | 14,180,775 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 5,081,815 | 5,083,747 |
| 売上原価 | 4,065,198 | 4,188,687 |
| 売上総利益 | 1,016,616 | 895,060 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,813,224 | 1,985,644 |
| 営業損失(△) | △796,607 | △1,090,583 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 7,114 | 8,266 |
| 為替差益 | 13,466 | 313,089 |
| 助成金収入 | 16,802 | 5,400 |
| その他 | 6,181 | 5,989 |
| 営業外収益合計 | 43,565 | 332,745 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,565 | 12,396 |
| 障害者雇用納付金 | 4,200 | 4,150 |
| その他 | 1,050 | 130 |
| 営業外費用合計 | 19,815 | 16,677 |
| 経常損失(△) | △772,857 | △774,515 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 4,031 | — |
| 固定資産廃棄損 | 203 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 3,800 | — |
| 特別損失合計 | 8,036 | 0 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △780,893 | △774,515 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,363 | 30,891 |
| 法人税等調整額 | △211,588 | △311,300 |
| 法人税等合計 | △199,225 | △280,408 |
| 四半期純損失(△) | △581,668 | △494,106 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △581,668 | △494,106 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △581,668 | △494,106 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △19,129 | △4,506 |
| 為替換算調整勘定 | △13,363 | △271,723 |
| その他の包括利益合計 | △32,493 | △276,229 |
| 四半期包括利益 | △614,162 | △770,335 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △614,162 | △770,335 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △780,893 | △774,515 |
| 減価償却費 | 228,580 | 233,435 |
| 減損損失 | 4,031 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △550 | △600 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △673 | 12,207 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | △3,063 | △8,713 |
| 従業員株式付与引当金の増減額(△は減少) | 6,037 | 5,255 |
| 役員報酬BIP信託引当金の増減額(△は減少) | △14,371 | △22,597 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 2,120 | 830 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7,115 | △8,267 |
| 支払利息 | 14,565 | 12,396 |
| 助成金収入 | △16,802 | △5,400 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 3,800 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,556,731 | 911,848 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △644,880 | △1,277,881 |
| 信託受益権の増減額(△は増加) | 58,392 | 21,149 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △488,394 | △88,895 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △146,340 | △162,473 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 54,335 | 48,533 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △158,716 | △417,971 |
| その他 | △45,710 | △236,882 |
| 小計 | 621,082 | △1,758,541 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,116 | 8,091 |
| 利息の支払額 | △15,171 | △11,973 |
| 助成金の受取額 | 16,802 | 5,400 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 305,684 | △282,566 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 935,513 | △2,039,590 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △64,202 | △86,226 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △41,279 | △37,190 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3,249 | △3,881 |
| 定期預金の払戻による収入 | 55,000 | — |
| その他 | 9,826 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △43,904 | △127,295 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △776,975 | 1,487,925 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △250,132 | △263,476 |
| 配当金の支払額 | △68,308 | △68,495 |
| その他 | △53,804 | △56,861 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,049,220 | 1,099,091 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 410 | 22,007 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △157,200 | △1,045,786 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,333,858 | 4,094,941 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,176,658 | 3,049,154 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-------------------|-----------|-------------------------------|-----------|--------|-----------|
| | 輸送機器事業 | 産業機器事業 (エネルギーマネジメントシステム事業) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,394,110 | 1,668,860 | 5,062,971 | 18,844 | 5,081,815 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,394,110 | 1,668,860 | 5,062,971 | 18,844 | 5,081,815 |
| セグメント利益又は損失(△) | △635,813 | △142,213 | △778,027 | 3,505 | △774,521 |

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項) (単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △778,027 |
| 「その他」の区分の利益 | 3,505 |
| 全社費用(注) | △22,086 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △796,607 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、4,031千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-------------------|-----------|-------------------------------|------------|--------|------------|
| | 輸送機器事業 | 産業機器事業 (エネルギーマネジメントシステム事業) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,190,417 | 1,874,515 | 5,064,933 | 18,814 | 5,083,747 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,190,417 | 1,874,515 | 5,064,933 | 18,814 | 5,083,747 |
| セグメント利益又は損失(△) | △919,584 | △147,090 | △1,066,674 | 4,902 | △1,061,772 |

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|------------|
| 報告セグメント計 | △1,066,674 |
| 「その他」の区分の利益 | 4,902 |
| 全社費用(注) | △28,811 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △1,090,583 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。